

おん き がく だん

音気楽団

はた
ー機 の妖精にきくー

丹後地域にとって機音(はたおと)は地域の暮らしと一体のもの。空き工場がふえていくなかで、使われなくなった機道具もふえていく。道具に宿った妖精たちの音色に耳をすませ、音をさぐり、音であそぶ「音気楽団」を結成し、ワークショップ「はたおと・さぐり」を開催します。そして織物文化を培ってきた丹後半島をめぐる「音気楽団」のパフォーマンス「はたおと・あそび」ツアーを開催します。

ワークショップ

はたおと・
さぐり

2025年

9月20日^土

与謝野編

9月27日^土

京丹後編

各日
13:30-17:00

パフォーマンス

はたおと・
あそび



10月5日^日

パフォーマンス会場 9:30-18:00

実相寺[与謝野]ー

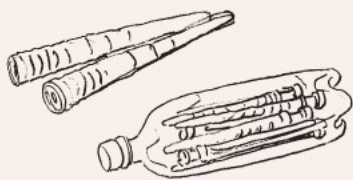
吉村家別荘桜山荘[京丹後]ー

本庄漁港[伊根町蒲入]ー

mubenari field 一本杉の麓[宮津]

(天平の古道沿い・MAEDA OLIVE FARM内)





おん き がく だん 音気楽団



楽団長からのメッセージ

「やあ! こんなにもお集まりくださって感激です!」

この度、丹後の織物の機屋さんから、使い古された織機(しょっき)の部品をいっぱいご提供いただきました。長く役立って来たこの道具たちには、どんな音が染み込んでいるんだろうと、ぼくは、この一つずつを手にとってワクワクしているところです。

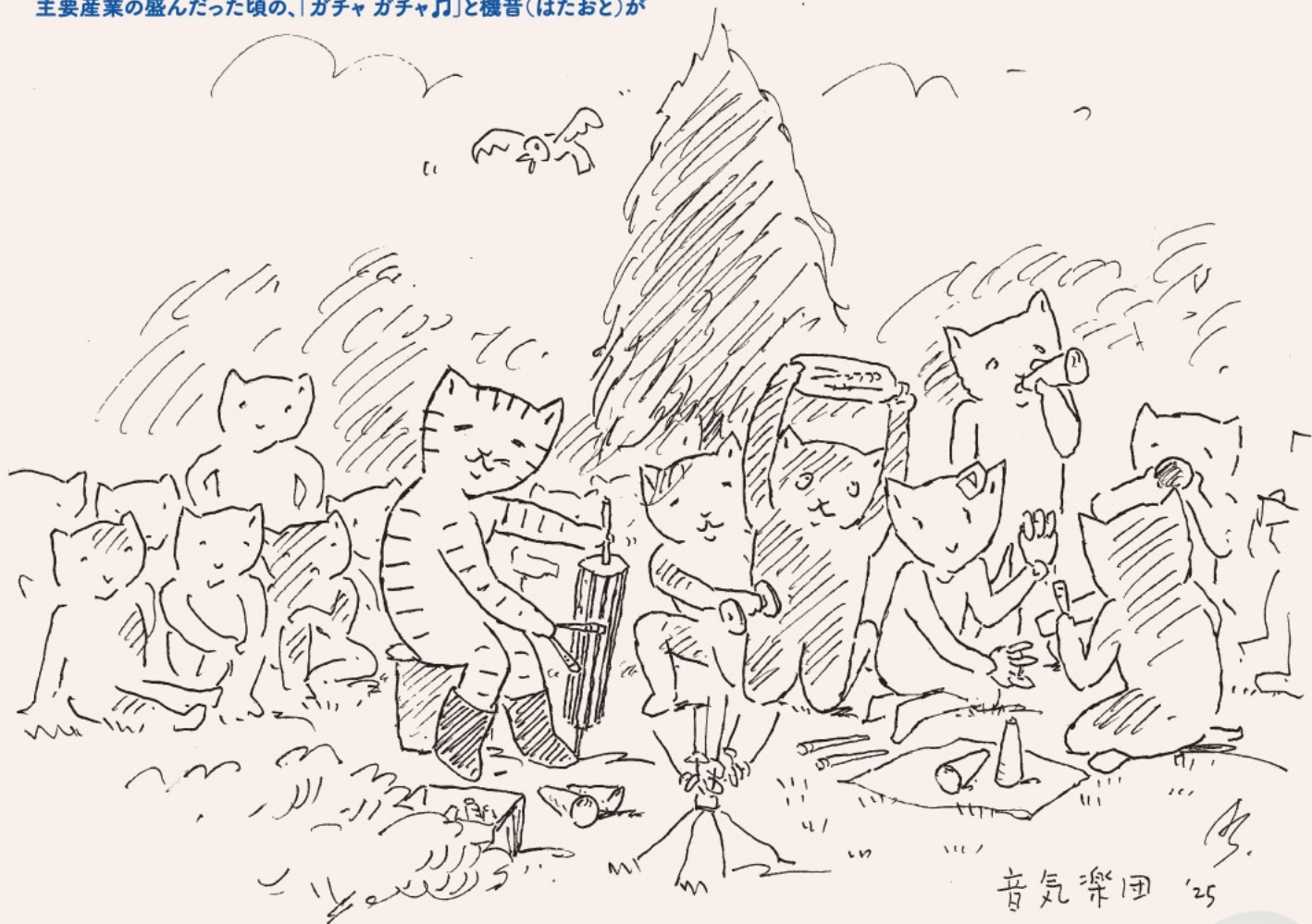
陶器でできた「静輪(しずわ)」という重りに、糸を巻き取る大小の「糸杵(いとわく)」や、経糸の間をすごい速さで横に往復していた「杼(ひ)シャトル」、そして沢山の糸巻き「管(くだ)」などなど・・・

主要産業の盛んだった頃の、「ガチャ ガチャ」^{はた}と機音(はたおと)が

沸き立っていた丹後が想像できます。皆さんと、これらの物から何を感じ、音をさぐることが出来るでしょうか。

どのような物にも、すでに固有の音の振動が備わっています。まずはそれに耳を澄ますところから始めたいと思っています。道具たちに宿っている音に聴き入り、あの「ガチャ ガチャ」のどの部門を担っていたかと想像をめぐらせたり、又これらを「音あそび」の道具に置き換えたとき、未来に開かれた「妖精」の音に出会えたら面白いですね。

皆さんといっしょに、創りあう喜びを楽しんでみましょう。



楽団長 鈴木 昭男

サウンドアーティスト

1960年代の〈なげかけ〉と〈たどり〉のコンセプトによる自修イベントの体験の中からエコー音器ANALAPOSを創作し、演奏活動を展開。1987年、ドクメンタ 8 カッセルに出場した。1988年には、〈一日の自然に耳を澄ます〉「日向ぼっこの空間」を、日本標準時子午線の通る京都最北の丹後の山中で遂行。1996年、ベルリンで発表した巷に耳を澄ます「点音 "o to da te"」を、世界各地で継続している。即興演奏家としても知られる。

akiosuzuki.com

旅の踊り子(ゲスト出演) 宮北 裕美

アーティスト

イリノイ大学芸術学部ダンス科卒。舞台芸術の出演や振付を経て「立つ、歩く、座る」と言ったシンプルな動作、身の回りのモノや現象にダンスを見出し、即興パフォーマンスや視覚芸術の可能性を探る。2012年より丹後半島に拠点を置き、浜で採集した自然の石を打つダンス「Nutu(ヌトゥ)」を創始、国内外で上演。近年は公共の場や自然環境などで様々なパフォーマンスを手がける。

miyakitahiromi.com



ワークショップ

はたおと・さぐり

丹後在住の世界的サウンドアーティスト鈴木昭男と機工場を巡り、機道具の音に耳をすまし、音をきくことからはじめ、音をさぐるワークショップ(WS)。

鈴木昭男が楽団長、WS参加者が楽団員となり「音気楽団」を結成します。

9月20日 **土** **与謝野編**
13:30-17:00

ワークショップ
会場

Amanohashidate
Terrace Coffee(ATC)
(与謝野町岩滝1788)

13:30~ 「耳をすます」
鈴木昭男によるミニコンサートとお話
「道具との出会い」

14:30~ 機工場見学(丸仙)

15:30~ 「音さぐり」
(ATC→阿蘇シーサイドパーク)

17:00頃 終了

9月27日 **土** **京丹後編**
13:30-17:00

ワークショップ
会場

浅茂川区民会館
(京丹後市網野町浅茂川1800)

13:30~ 「耳をすます」
鈴木昭男によるミニコンサートとお話
「道具との出会い」

14:30~ 機工場見学(田勇機業)

15:30~ 「音さぐり」
(浅茂川区民会館→八丁浜海岸)

17:00頃 終了

パフォーマンス

はたおと・あそび

ワークショップ「はたおと・さぐり」で見つけた表現を、楽団長 鈴木昭男と楽団員(WS参加者)とで披露します。丹後半島4会場をボンネットバスに乗り、楽団の一員として、機道具によって繰り広げられる音の世界を発表しながら巡ります。

10月5日 **日**
9:30-18:00

(リハーサル・移動を含みます)

集合・解散場所

旧加悦町役場庁舎
(与謝野町加悦1060)

ツアー
ルート

実相寺[与謝野]ー

吉村家別荘桜山荘[京丹後]ー

本庄漁港[伊根町蒲入]ー

mubenari field 一本杉の麓[宮津]
(天平の古道沿い MAEDA OLIVE FARM 内)

* 詳細は裏面をご覧ください

ボンネットバス
で巡ります



ワークショップ&パフォーマンス

参加者募集

参加
無料

対象：小学生以上どなたでも

定員：ワークショップ各回13名 計26名

申込みはこちら



電話申込
も可

*ワークショップいずれか1日とパフォーマンスの両日参加
できる方を募集します。

*10月5日(日)は、ご希望の方には昼食(実費)を準備します。

*申込多数の場合は抽選となります。

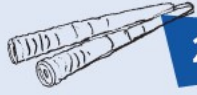
申込〆切

9月4日(木)16時

「音気楽団」演奏会へご招待！

パフォーマンス

はたおと・あそび



2025年

10月5日 日

10:00

11:30

14:30

16:30



※各会場の上演時間は30分程度の予定です。※開始時間は前後する場合があります。

「音気楽団」による「はたおと・あそび」ツアーを日本遺産「丹後ちりめん回廊」にまつわる4会場をステージに開催します。

楽団員は「はたおと・さぐり」ワークショップの参加者たち。

各会場どなたでも観覧可能です。ぜひ機種の妖精が奏でる音と出会いにお越しください！

2 京丹後



11:30

吉村家別荘桜山荘

丹後ちりめんの発展に尽力した吉村家4代目吉村伊助が、大正8年(1919年)に建築した。羽衣天女伝説のある磯砂山を望む。
*日本遺産「丹後ちりめん回廊」構成文化財
京丹後市峰山町菅
駐車場：吉村機業

1 与謝野



10:00

実相寺

ちりめん街道がクランクする位置にあり、養蚕・生糸・織物の守護神とする金色蚕糸神が祀られている。
*日本遺産「丹後ちりめん回廊」構成文化財
与謝野町加悦1014
駐車場：旧加悦町役場庁舎

「音気楽団」と共に全4会場を巡りたい方向けの鑑賞バスも運行します。
(予約制・定員26名)



3 伊根

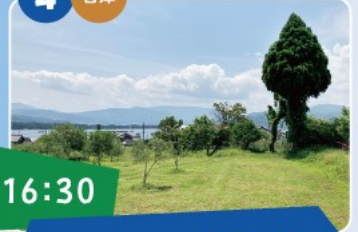


14:30

本庄漁港

昭和40年頃 蒲入漁協組合が運営する織物作業所があり漁業と織物で栄えた。伊根町筒川に日本遺産「丹後ちりめん回廊」構成文化財「丹後大仏」がある。
伊根町蒲入
駐車場：蒲入集会所 ※伊根町蒲入の漁港です。

4 宮津



16:30

mubenari field 一本杉の麓

(天平の古道沿いMAEDA OLIVE FARM内)

龍神社～京都府立丹後郷土資料館(休館中)まで続く天平の古道からは日本遺産「丹後ちりめん回廊」構成文化財「天橋立」が臨める。
宮津市中野
駐車場：府中小学校グラウンド



会場マップは
こちら

鑑賞バスツアールート

鑑賞バスツアー

9:30-18:00

集合場所：旧加悦町役場庁舎



全4会場の「音気楽団」のパフォーマンスを丹後半島の風景とともに楽しめる鑑賞バスを運行します。

- *ご希望の方には昼食(実費)を準備します。
- *公共交通機関でお越しの方には与謝野駅への送迎が可能です。
- *運行車両はイメージとは異なる場合があります。

定員：26名 【申込〆切】9月16日(火) 16時

申込はこちら
電話申込も可

※申込多数の場合は
抽選となります。



3 伊根会場

4 宮津会場は

旅の踊り子 宮北裕美が
「おりひめの舞」を
共演します。

主催 京都:Re-Search実行委員会(京都府、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、海の京都DMOほか)

お問合せ／お申込み 京都府丹後広域振興局 企画・連携推進課(担当:カイ)

E-mail a-08314@pref.kyoto.lg.jp TEL 0772-62-4300(月-木 9:00-12:00 13:00-17:00)

Kaico[カイコ]:

丹後地域において、蚕から生成される資源を大切にきてきたことを、なつかしく思い(懐古)、振り返り見る(回顧)ことで、思いがけない出会い(邂逅)を創造する文化活動。